

ブラック企業のメダリスト

許すな! 日本IBMの ロックアウト解雇 12・4大集会

—日本IBM解雇撤回闘争支援全国連絡会結成集会—

日本アイビーエムは、労働組合つぶしの 大量指名解雇をやめろ! 職場に戻せ!

日本アイビーエムは昨年、労働者を別室に呼び出し、突然、解雇を通告する「ロックアウト解雇」を断行。この1年間で、JMIU日本IBM支部組合員だけで26人が解雇を通告されました。

「就業規則の解雇要件に該当」とのみ言うだけで具体的な解雇理由は一切説明せず、労働組合との協議もしない、極めて乱暴な解雇です。

安倍政権は「解雇の自由化」をはじめとする労働法制改悪をすすめています。日本アイビーエムでのロックアウト解雇は、「解雇自由化」の先取りであり、全労働者にかげられた攻撃です。

乱暴な解雇攻撃に正面から立ち向かうJMIU日本IBM支部のたたかいを全国的な運動で支援し、勝利への飛躍をつくるために大集会を開催します。

多くの仲間の参加を心から呼びかけます。

呼びかけ人

大黒作治(全労連議長) / 伊藤潤一(東京地評議長) / 川辺和宏(大阪労連議長) / 松本悟(千葉労連議長) / 山田真巳子(医労連委員長) / 宮垣忠(国公労連委員長) / 日比野敬陽(MIC議長) / 近村一也(航空労組連議長) / 小越洋之助(労働総研代表理事) / 篠原義仁(自由法曹団団長) / 田島一(民主主義文学会会長) / 生熊茂実(JMIU委員長)

日時 2013年12月4日(水)

午後6時30分～

会場 日本教育会館大ホール

(地下鉄神保町駅下車)



参加協力券 500円

出演 松元ヒロ
(コメディアン)

プロフィール

- 1952年 鹿児島に生まれる。
- 1969年 鹿児島実業高校在学中、全国高校駅伝で区間賞。
- 1975年 法政大学在学中に陸上の道から芸の道へ。卒業後、男は黙ってパントマイマーに。その後、よく喋るマイマーとしてお笑いの道へ。
- 1985年 NTV「お笑いスター誕生」で優勝(笑パーティー)
- 1988年 <ザ・ニューズペーパー>の結成に参加、政治風刺コトの世界へ。
- 1998年 <ザ・ニューズペーパー>を退団し、ソロ活動開始。
- 1999年 渋谷ジャンジャンにて46歳のソロデビュー。マイムやトーク、一人コトをフューチャーした「スタンダップ コミック」での公演活動に入る。
- 2005年 「立川談志 日本の笑芸百選」(NHK BS2)に選ばれる。
- 2007年 TBSラジオ「永六輔その新世界」の「上原ワケ芸能大賞」受賞
- 2000年～09年 立川志の輔師匠の「志の輔らくご」に毎月ゲスト出演。
- 2008年～ ソロライブ「ひとり立ち」を春と秋、主に紀伊國屋ホール、新宿明治安田生命ホール等で定期的に続けている
- 2013年～ 「週刊金曜日」に「写日記」(エッセー)を隔週で掲載中



主催 日本IBM解雇撤回闘争支援全国連絡会準備会

連絡先

JMIU日本IBM支部 東京都港区赤坂2-20-6川瀬ビル5F
☎03-3583-9037 e-mail:jmiu-ibm@i.bekkoame.ne.jp

「日本IBM解雇撤回闘争支援全国連絡会」へのご参加を心から呼びかけます

上司から突然、別室に呼び出され、いきなり解雇通告を読み上げられ、「私物をまとめてただちに出て行きなさい」と命じられたら・・・こんなことがいま、日本IBMで多くの労働者に対し現実に行われています。就業規則上の解雇要件に該当するとした指名解雇、いわゆる「ロックアウト解雇」です。日本IBMは、解雇の具体的理由もいっさい示さず、労働組合との事前協議も行ないません。

こんなやり方で、全日本金属情報機器労働組合（略称：JMUI）日本IBM支部組合員約130名のうち、昨年7月以降26名が解雇通知を受けました。そのなかには、労働組合活動の先頭に立ってきた役員が数多く含まれ、組合活動に重大な支障が生じています。しかも、それぞれの職場単位でみると、見せしめとしてJMUI組合員を集中的に解雇しています。このように、この解雇の目的は、利益の極大化をねらうリストラであり、労働組合の団結破壊と職場労働者との分断を図り、たたかう労働組合を職場から排除することです。

JMUI日本IBM支部では、10名の組合員が解雇の無効を訴えて裁判を提訴するとともに、労働組合として労働委員会に不当労働行為救済申立を行い、たたかいに立ち上がっています。

安倍政権は、「企業が世界でもっとも活動しやすい国をめざす」として労働規制緩和をすすめています。その中心は「解雇の自由」です。元社長が「リストラの毒味役」と自称したように、これまでも日本IBMは、他社に先んじて新しい手法のリストラを編み出し実行してきました。ロックアウト解雇も、「安倍雇用改革」の先取りであり、「解雇自由」の社会をつくる先鞭をつけるものです。日本IBMのやり方にストップをかけなければ日本国中に指名解雇や労働組合破壊がひろがります。この攻撃は、日本IBMにとどまらず、全国の労働者・労働組合にかけられた攻撃です。

こうした重大な意義をもつ日本IBMにおけるたたかいを全国的な運動で支援するため、「日本IBM闘争支援全国連絡会」を結成し、2013年12月4日（水）、「許すな！日本IBMのロックアウト解雇12・4大集会」を開催することになりました。全国の仲間のみなさんの参加を心から呼びかけるものです。

2013年9月17日

【呼びかけ人】

大黒作治（全労連議長）／伊藤潤一（東京地評議長）／川辺和宏（大阪労連議長）／松本悟（千葉労連議長）／山田真巳子（医労連委員長）／宮垣忠（国公労連委員長）／日比野敏陽（MIC議長）／近村一也（航空労組連議長）／小越洋之助（労働総研代表理事）／篠原義仁（自由法曹団団長）／田島一（民主主義文学会会長）／生熊茂実（JMUI委員長）